緑の地球　第150号　　2013年3月15日発行　　年6回・奇数月15日発行　　発行：認定特定非営利活動法人　緑の地球ネットワーク
年間購読料2,000円（送料含む）定価300円　〒552-0012大阪市港区市岡1丁目4-24　住宅情報ビル5F　TEL. 06-6576-6181　FAX. 06-6576-6182
郵便振替　00940-2-128465　E-MAIL：gentree＠s4.dion.ne.jp　URL（ホームページ）：http://homepage3.nifty.com/gentree/

緑の地球

GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力

南天門自然植物園で1999年4月に植えたマツが大きく成長し４ｍを超えた（2013年1月）

Contents

●第19回会員総会のご案内 …… Ｐ２
●南天門自然植物園報告（２） …… Ｐ２
●GEN関東ブランチ西伊豆5月合宿 …… Ｐ４
●最近の越境大気汚染騒動に思う …… Ｐ５

2013.3
150

認定特定非営利活動法人　緑の地球ネットワーク

GENに参加するには　☆会員・会報購読者になる　☆自然と親しむ会・講演会・報告会・学習会に参加する　☆ワーキングツアーに参加する
☆ビデオ『よみがえる森』を見る　☆書き損じハガキ・古切手を集めて送るetc.　　★あなたのご参加を待っています！

緑の地球ネットワーク 第19回会員総会のご案内

2012年、GENは20周年を迎え、8月には日中関係がきびしい局面にあるなか、大同で盛大に記念イベントをおこなうことができました。参加したツアー参加者からも「感動した」との声が聞かれ、いかなる状況でも活動を続けていくことの大切さを実感しましています。信頼関係に基づいた協力の輪をこれからもみなさんといっしょに広げていきたいと思います。ぜひ総会にご参加ください。会員のみなさんには後日資料をお送りします。

【緑の地球ネットワーク 第19回会員総会】

○日時：6月15日（土）
○記念講演：13時30分～15時
○講師：調整中
○会員総会：15時20分～16時40分
○場所：大阪市立総合生涯学習センター第1研修室（大阪市北区梅田1-2-2-500　大阪駅前第2ビル5階　tel.06-6345-5000　JR「大阪」駅／「北新地」駅、各線「梅田」駅下車
○会員総会終了後の懇親会は調整中です。

自然林再生をめざして 南天門自然植物園報告（2）

南天門自然植物園の今日の姿に飛びます。2012年夏、日本語と中国語を用いて広州で発行されている雑誌『クロスロード』に私たちの活動が紹介されました。そのための写真を送ったら、編集長から連絡がきました。最近の写真がほんとにあのはげ山の13年後のものか、とても信じられないので確認したい、というものでした。それくらい変化が大きいのです。日本の山と変わらないじゃないですか、と現場で話しかけてくるツアー参加者もいます。

たしかに緑が茂ってきました。中心となっているのは北向きの日陰斜面で、ナラが中心です。モンゴリナラ（蒙櫟）、リョウトウナラ（遼東櫟）が多く（この2つは同一種の2つのタイプとみる説もあります）、ほかにカシワ（槲樹）、ナラガシワ（槲櫟）もあります。数種類のシナノキ、カエデなども混じっています。最大のものは樹高13m以上、胸高直径25cm以上になっています。でも、そのサイズのものは少数で、多いのは樹高7～8mのもの。

林床には落ち葉が厚く積もっています。小川眞顧問によると、微生物や小動物も急激にふえて分解が早まっており、森林土壌が形成されているので、樹木の生育はより加速するとのこと。楽しみです。

南向きの日向斜面は植物が少ないために、雨によって土が流され、岩盤が剥き出しになっているところが多かったのですが、ここ数年でずっと緑が濃くなりました。多いのはニンジンボクや灌木のトネリコですが、そのほかにもたくさんの木や草がまじり、種の数では日陰斜面を大きく上回っています。ここ2年連続で雨が多かったので、新しい芽生えもあります。

2008年からは、日陰斜面と日向斜面に調査区を設定し、そのなかの樹木に番号をつけ、胸高直径と樹高を毎年測定しています。標本を採取して、幹・枝・葉の重さのデータをえましたので、胸高直径を測りさえすれば、そこに存在する材の重さと年ごとの変化、炭素固定量を推定できるようになりました。

スタッフたちは植物種を増やすために、山西省はもとより、河北省、北京市、内蒙古自治区などへでかけては、種子その他を集めてきました。苗をつくっては、敷地内に植え広げてきたのです。私が「植物の種類の多いところにいってみたい」というと、「それはここです。こんなところはほかにありません」と答えが返ってきました。自信をつけてきたんですね。

数年前から標本づくりを自発的にはじめ、コンクリート製の重しまでつくったのですが、あまりに重すぎて、茎をつぶしてしまいました。でも、その積極性があるからいいんですね。日本の専門家のアドバイスをみごとに吸収します。すでに500葉以上をつくり、図鑑を頼りに名前を調べています。

おもしろいことがあります。「いちばん大きい木の高さは？」と私がきくと、李向東は「4.5 m」と答えます。それは自分たちの植えた木についてなんですね。どちらかというと私は自然に育ってきている木のほうが気になるのですが、彼らは自分の手で植えた木のほうがかわいいのです。

ことしの1月、北京の林業科学研究院と北京林業大学を訪ねて、南天門自然植物園の現状について話しました。私たちの話を熱心にきき、「どれもこれも貴重な樹種だ。再生のスピードもすごく速い」といって感心してくれました。この春にはぜひきてもらいたいと思っています。協力関係をつくりあげて、今後の維持管理に役立てたいのです。（高見邦雄）

モンゴリナラ

いますぐできるＧＥＮへの協力

■会員の輪をひろげよう！
緑の地球ネットワーク会費（年額）
一般会員12,000円
家族会員（同居の家族2人目から）
6,000円
学生会員3,000円
ジュニア会員（中学生以下）1,000円
団体会員12,000円
賛助会員100,000円
※会費は会報購読料を含んでいます。

■会報を購読してください！
GENの活動に関心はあるけれど会員になるのはちょっと、という方は、会報『緑の地球』を購読してみませんか。年間購読料2,000円。

■緑化基金、運営カンパもとむ
金額は自由です。GENへの寄付は、寄付控除の対象となります。また、緑化基金、運営カンパの別を問わない使途自由のご寄付も受け付けます。その場合、必要に応じて使わせていただきます。＊緑化基金の20%は事務管理費になります。

■絵はがき『黄土高原の花』
8枚組・300円（送料別途。5セット以上送料無料）

■書き損じはがきを集めています
書き損じはがき、古い未使用のはがきを集めています。通信費にあてます。

■未使用切手・古切手を集めています
普通切手、記念切手、外国切手なんでもOK。周囲を1cmほど残して切り取ってお送りください。

■ボランティア募集
会報発送や事務所の手伝いなどのボランティアを随時募集しています。ボランティア可能な曜日、時間帯をご連絡ください。来ていただきたいときにGEN事務所から連絡します。

【GENへの寄付は税制上の優遇措置を受けられます】
緑の地球ネットワークは国税庁長官に認定された認定NPO法人です。（期限は2014年5月31日まで）。

GENへの寄付は、所得控除あるいは税額控除を受けられます。対象となるのは2,000円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業（法人）からの寄付金は、一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定NPO法人に寄付すると、相続税の課税対象から除外されます。

GENの場合寄付金となるのは、緑化基金・運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち1口を超える部分、賛助会費から12,000円をひいた金額です。

また、大阪市民のかたは市民税控除を受けることができます。くわしくはお問い合わせください。

報告

山辺の道を歩いて －自然と親しむ会報告－

河合　敦子（大阪府和泉市）

山辺の道ハイキングに親子で参加しました。奈良…山辺の道…有名ですけど、私は学生時代週末ごとにこのあたりの馬牧場までアルバイトに来ていたのですが、邪馬台国とか古墳とかというと手塚治虫の『火の鳥』と『三つ目がとおる』のイメージくらいしかありません。報告者として相応しくない気もしますがどうかご容赦ください。

午前10時「JR巻向」（まきむく、と読むそうです。私読めませんでした）集合。大阪からすぐなのに単線で無人駅でビックリ。桜井市観光協会の巽良生さんが案内してくださいました。まずは歩く前に準備体操。駅前すぐ、まさに発掘中のエリアがあり、卑弥呼の墓といわれる箸墓古墳も望めます。この辺りが邪馬台国の遺跡であるかもしれないといま熱く注目されているそうです。”ヒミコちゃん”がこの町のマスコットだそう。

珠城山古墳群、「この小山も、あの森も、あの山も古墳ですね」そこここにこんもりした小山が見えます。石室に入ってみると二畳くらいはあったでしょうか、中は意外に大人が立てる天井の高さで涼しかったです。道みち、のどかなミカン畑がつづき、無人販売でミカンを買って、ハッサクを買って、キャ～安いっとほとんどお買い物状態の私、楽しい…梅のつぼみも膨らんで民家のロウバイがいいにおい。

山辺の道あちこちに建てられている歌碑を楽しみながら、桧原神社では3つ連結したような変わった形の鳥居をみて、さらに林の中の道をいくと大神神社、「おおかみ神社」と読んでいたら「おおみわ神社」ですよね、トホホ。

昼食後、三輪山に登りましたが、お山がご神体なので写真うつしてはいけないのは残念、入山許可（300円）の鈴付きのたすきをつけ、お祓いをしてもらってから登ります。中程からはトゲトゲのカラスザンショウがたくさんはえていて、葉柄痕がおサルの顔みたい！と子供も喜んでいました。聖域ということで裸足で登っている人もいました。標高467m、意外に！ハードで、往復2時間半くらいかかりました。

4時近くになったので三輪駅で解散、2月とは思えないほど暖かな日和でした。なにも知らない小学生（私も？）連れてどうかしらとやや心配でしたが、皆様にはいろいろ教えていただき楽しいハイキングでした。

活動紹介ビデオ
『黄色い大地に広がる緑～草の根環境協力の 20 年』

20 年に際して、今までの活動成果を紹介するためにビデオ「黄色い大地に広がる緑～草の根環境協力の 20 年」を制作し、中国の緑化に関係する方がた、お世話になった方がた、会員にお送りしています。

今回は中国語版「黄土地上的緑色詩篇～草根環境合作 20 年」も同時に制作しました。従来はビデオテープでしたが、今回は DVD で、26 分ちょうど。

プロローグに昨年 8 月 24 日に開催された大同での 20 周年記念イベントをもってきました。島をめぐって両国の緊張が深まるなか、あそこでは別の風が吹いていたのです。

砂漠化と水不足が深刻な大同で木を植えて育てるのは容易なことではありません。最初は失敗つづきでした。カウンターパートの緑色地球網絡大同事務所が成立し、彼らががんばってくれたことで、ここまで前進できたと思います。モデルとみなされるプロジェクトがいくつもできてきました。中国でも「国際協力の貴重な成功例」と評価されるようになったのです。

編集費は JICA 草の根技術協力事業により、プリント費はトヨタ財団の助成をうけました。できるだけ多くの人にこの協力事業を知ってもらうため、コピーフリーとしました。

希望されるかたにはお送りしますので、GEN 事務所までご連絡ください。

参加者募集

GEN 関東ブランチ
第 4 回　西伊豆 5 月合宿

恒例となりました、今年も西伊豆町宇久須にて下記のように合宿をおこないます。みなさんの参加をお待ちしています。

○参加費用：大人 10,000 円　子ども 6,000 円（GEN 関東ブランチ宿舎利用、2 泊）
※参加費用は宿泊費（宿舎管理費・光熱費・寝具）・食費（酒代は別）・保険料を含みます。現地までの交通費は含みません。

○日程：5 月 10 日（金）夕方現地集合結団式
5 月 11 日（土）活動日　薪割り、無煙炭化器での炭焼き、関東ブランチ圃場での作付け作業などをおこないます。
夜または夕方に講座「地元学」（西伊豆町まちづくり協議会宇久須スローライフ部会主催）を開催。マーケットに左右されない「オスソワケ」に根ざした地域再生について考えます。
5 月 12 日（日）午前活動：西伊豆の自然を満喫します。昼食後に現地解散。
※活動内容は現地の状況や天候により、変更されることがあります。
※一泊あるいは民宿利用希望などのかたは、下記、申込み先までご相談ください。
GEN 関東ブランチの西伊豆でのいまま

までの活動については、ブログ西伊豆（字久須）だよりをご覧ください。
http://blog.goo.ne.jp/gen-ugusu

○定員：12 名（先着順）

○参加申込み：下記のいずれかの方法でお申し込みください。

◆電子メール：上田信　ueda@rik-kyo.ac.jp　かならずメールの件名に「GEN 宇久須合宿申込み」と記入してください。

◆郵送：〒171-8501 豊島区西池袋 3-34-1 立教大学文学部上田研究室

◆必要項目：参加希望者全員の氏名、年齢、性別、住所、代表者の携帯電話番号

○申込み締め切り：2013 年 4 月末日

最近の越境大気汚染騒動に思う

小柳　秀明（地球環境戦略研究機関北京事務所所長）

1 月14日の北京市内、大気汚染で視界が悪化している（被写体は独自に大気汚染観測をしている米大使館）

私が 1997 年以来ずっと携わってきているのは環境協力という日本からの積極的な貢献分野だが、このような本来対立のない分野でも昨年の皆承知の理由による日中関係の悪化により、多くの協力活動が停滞しているのは悲しいことだ。

昨年末の某新聞の世論調査によると、80% 近くの日本国民が中国のことを嫌っているという報道があった。そして日本国内には継続中のものも含めて中国との協力は止めたらどうかとの強硬意見もある。

この嵐のような環境下で、今年 1 月に入ってすぐ中国で観測史上最悪ともいわれる大気汚染が発生し、2 月末現在に至るも継続している。日本でも中国からの越境汚染だと大騒ぎになっているのは皆承知のとおりだ。私もずっと北京に住んでいるが、深呼吸をすることができない。いったん咳き込んだらどこを見回してもきれいな空気が存在しない。逃げ場がないのだ。だから日本へ戻ってくると安心する。そんな空気がきれいと思える日本で大騒ぎをするのは正直言って過剰反応とも思えるのだが、多くの人が心配するので、2 月27 日環境省は外出の注意喚起をする目安となる指針を策定した。

大気汚染対策マスク

このような中国からの越境汚染問題に対して、日本国内では中国に対策を求める声がつよい。影響を受ける地方公共団体などが直接中国に申し入れを行う場合もあるが、多くの場合は地方公共団体→国（環境省、外務省など）→中国政府といったかたちで意向が伝えられる。今回の大気汚染問題でも 2 月の春節明けすぐに環境省、外務省などの代表団が中国環境保護部等を訪問した。

ただ、このような申し入れを行ってもすぐに問題が解決するわけではないから、言った方も言われた方も厄介だ。中国も故意に汚染物質を出しているわけではなく、逆に汚染物質の排出抑制に躍起になっていると言った方が正しい。日本政府もそのあたりの事情は分かっているだけに、ただ単に強く申し入れを行えばよいというものでもない。

また、被害という観点から見ると中国国内での被害は、微小粒子状物質（PM2.5）も酸性雨も黄砂も、そしておそらく光化学オキシダントも日本の数倍～数十倍の被害の程度だから、申し入れの際に日本への影響・被害を強調しても中国側には深刻には伝わらないし、逆効果になることもある。解決を中国に求めることを否定はしないが、現地で本当に大変な思いをしている人びとがいるということを忘れてはならないということを自覚していることが大切だ。

それでは、どのような態度で向き合えばよいのであろうか。究極的には中国国内での大気汚染問題が解決に向かえば、おのずと日本への影響も小さくなるわけだから、被害の大きい中国の国内対策に手を貸しましょうと素直な気持ちで臨めば十分なのではないか。そのほうが相手側も気分がよいし、感謝の気持ちも湧いてくるというものだ。

逆に日本への影響を軽減するために手を貸すのだと正面からいうと、この人たちは自分の国の利益を考えて手を貸しているのだと受け取られ（実際にそうなのだが）、感謝の気持ちどころか反発を生むおそれも出てくる。

国際協力の場では自国の利益を考えつつも相手への思いやりを前面に出すことが必要だと思っている。

参加者募集

GEN 自然と親しむ会

初夏の植物園を歩こう

長く寒い冬がようやく終わりました。寒いなかでも植物達は静かに春の準備をすすめています。

前中さんの案内で5月の植物園を見学します。青葉の輝く季節です。ここでは世界各地から集めた木々が国ごとに植えられています。めずらしい植物をみることもできます。この時期どんな花が咲いているかも楽しみです。

みなさんのご参加をお待ちしています。

○日時：2013年5月19日（日）10時から15時ごろ
○場所：大阪市立大学理学部附属植物園
○集合：10時　京阪交野線私市駅前
○案内：前中久行さん（元大阪府立大学大学院教授・GEN代表）
○参加費：700円、こども200円（保険料を含む）植物園入場料が別途必要（350円、中学生以下無料）
○定員：30名
○参加申込：5月15日（水）までにGEN事務所へ※小雨実施

ハッピーアースデイ大阪2013

アースデイとは地球のことを考え行動する日のことです。ハッピーアースデイ大阪は学生主体で行っており、GENも出展します。会場では環境に配慮して使い捨ての食器ではなくリユース食器の使用を推奨しています。来場のさいはマイ食器、マイ箸をお持ちください。お時間があるかたはGENブースのお手伝いをお願いします。

○日時：3月23日（土）11時～17時
　3月24日（日）10時～16時
○場所：久宝寺緑地（大阪府八尾市）
　修景広場周辺（JR関西本線大和路線「久宝寺」（北へ徒歩10分）近鉄大阪線「久宝寺口」西へ徒歩15分
○主催・問合せ：ハッピーアースデイ大阪実行委員会　http://www.happy-earthday-osaka.jp/

民間レベルの心のつながりを大切に

外園　孝子（大分県中津市）

GEN会員ご家族の外園孝子さんから以下のようなお手紙をいただきました。事務局一同とても励まされる内容でしたのでご本人の了解をえてここでご紹介します。外園家の3人のお子さんはおこづかいでジュニア会費を払ってくれています。

日々の活動、本当におつかれさまです。この度はまた立派なDVDを送っていただき、ありがとうございました。20年のながきにわたり、中国の（いやこの地球の）大地を潤して来てくださったことに本当に頭の下がる思いがしています。

本来なら自分の手で関わるべきことを、私たちに代わって現地で実働して下さっているみなさんに心から感謝しています。

このように日中関係が難しくなっている今だからこそ民間レベルでの心のつながりを大事にしてきたGENに希望の光を感じずにはいられません。ご苦労されることも多々あることでしょうが、どうかみなさんお体に気をつけて活動を続けられてください。

わたしたちも、この大分の地でできることをしながら応援し続けたいと思っています。

我が家の三本の樹（晴樹、寛樹、ゆず樹）もすくすく育っています。いつかみんなで中国の大地に育った大きな森を見に行きたいと思っています。

予告

2013夏の黄土高原スタディツアー

夏のツアー日程が決まりました。8月の黄土高原で村の人たちといっしょに木を植えに行きませんか。スケジュール等詳細は未定ですが、次号でご案内します。

●日程：2013年8月24日（土）～30日（金）6泊7日

●訪問地：中国山西省大同市（北京経由）
●費用：未定（昨年実績17万円）
※付随費用、GEN年会費は別途お支払いください。
●定員：30名程度
●最少催行人員：12名
　詳細は5月号でご案内します。

黄土高原史話〈62〉

北の大地の百万都市（下）

谷口　義介（GEN会員）

つまり北魏の初代道武帝の段階で、首都平城の人口は近郊も含め100万に達したが、増加の最大理由は強制移民。特に398年1月の46万余口によって、一挙に2倍にふくらみます。

396年8月、拓跋珪（のちの道武帝）は、同じ鮮卑族ながら拓跋部とは別系統の慕容部が河北に建てた先進国家後燕を伐つべしと、40余万を従えて、ときの根拠地盛楽より進発する。目指すは都の中山（河北省定県）で、翌年2月、激戦のすえ斬首万余・捕虜4000の大勝利。さらに各地を転戦したあと、拓跋珪は中山に戻り、そこで人夫1万を動員して、河北望都の鉄関から恒山を切り開き、大同盆地に出る直通500余里の道路を敷く。かくて新たな征服地「山東六州」の民・役人と徒何部の鮮卑・高麗人など36万、河北の中山や鄴（後趙の旧都）からの技術者ら10万余人が、398年1月、このルートを通って大同へと送られた、という次第です。

拓跋珪も同年2月、同じルートで山西に帰り、4月祭天の儀礼を挙行、7月には平城に遷都して、12月自ら帝位に即く。さらに399年には、あわせて10万人ほどが漠北から平城へと強制移住。かくして従来の基礎人口に東・西からの移民が加わって、短期間に100万都市の出現をみた。

李凭氏の近著『北魏平城時代（修訂本）』（上海古籍出版社、2011年）は、「道武帝期の大量移民で京畿の人口は約150万」と推計するが、少し過大な気もします。

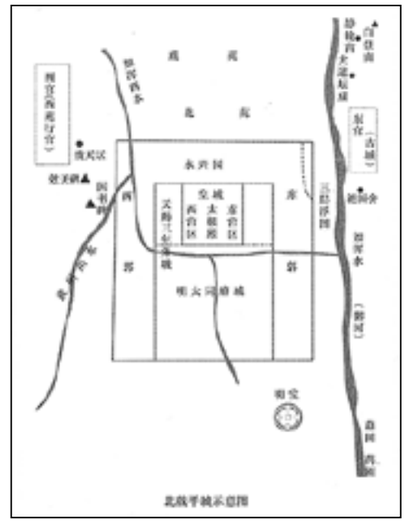
それはともかく、道武帝以後も、断続的に平城への移入は行われる。

(a) 418年4月　数不明
　冀・定・幽3州の徒何部を平城に
(b) 435年1月　数不明
　長安・平涼から平城に
(c) 439年10月　3万余家
　涼州（北涼の都）から平城に
(d) 446年　2000余家
　長安の技術者を平城に
(e) 447年3月　3000家
　定州・丁零から平城に
(f) 448年　5000家
　西河・離石から平城に
(g) 451年3月　5万余家
　降民を平城周辺に分置
(h) 469年10月　数百家
　山東から平城に
(i) 481年2月　3万余口
　南朝斉の捕虜を平城に

かくみると、平城の人口は増える一途のようですが、ときに戦死も餓死者もあり、生産力に限界もあって、それが減少の要因になる。たとえば、415年には飢饉により平城の民が飢えたため山東方面で食を求めさせ、427年の西征では路に死す者数知れず、帰還者は十に六、七と。また435年、長安・平涼から連行した民の一部を各自の郷里に帰らせている。

北魏平城の人口はプラス・マイナス勘案して100万前後で推移した、とみるのが穏当では？

なお、前回＜61＞の中段・下より2行目「京師（＝都）をし」→「京師（＝都）を充たし」に訂正。



映画の紹介

『先祖になる』

『延安の娘』『蟻の兵隊』の監督池谷薫さんの最新作です。

岩手県陸前高田市で農林業を営む77歳の佐藤直志さんが東日本大震災からの復興に奮闘する姿を追ったドキュメンタリー映画。津波で家を流され、息子を亡くした佐藤さんが森で木を伐り、自分の家を建て直すまでの1年半を追います。第63回ベルリン国際映画祭エキュメニカル賞特別表彰。

『先祖になる』オフィシャルサイト
http://senzoninaru.com/

○劇場情報
◆大阪　第七藝術劇場（tel.06-6302-2073）
　4／6（土）～12（金）①12時20分　②14時35分（1日2回上映）
　4／13（土）～19（金）①12時15分（1日1回上映）4月19日以降も続映
◆京都　京都シネマ（tel.075-353-4723）
　4月6日（土）～19日（金）
◆神戸　元町映画館（tel.078-366-2636）
　春公開

情報ひろば いろんなかたち

＊当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。
＊当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

森林ボランティアリーダー養成講座
森林大学 第29期生募集

森林のことをもっと知りたい、もっと森林で遊びたい、自分の力で森林を守りたいひとのための市民大学です。

○日程：4月10日～10月5日（全19回）
○内容：◆講座：18時45分～20時30分　大阪YMCA会館にて行います。
◆野外実習：いずみの森（泉佐野市）、少年自然の家（貝塚市）、箕面国有林、金剛山活動地ほか全6回
○講師：滝口敏行さん、齊藤侃三さん、山崎春人さん（いずれも森林インストラクター）ほか
○受講料：30,000円（野外実習の交通費、宿泊費は別）
○定員：30名（参加資格18歳以上。定員に達し次第しめ切ります。最小催行人数10名）
○主催：NPO法人日本森林ボランティア協会・大阪YMCA森林ボランティアの会
○申込み：4月5日までに下記へ
○問合せ：NPO法人日本森林ボランティア協会　〒530-0013　大阪市北区茶屋町2-30（tel./fax.06-6376-8255 E-mail:mori@npomori.jp　URL: http://www.npomori.jp/）

土佐文旦をどうぞ

ご自宅用に、ご贈答に、春の訪れを告げるさわやかな香りをお楽しみください。

土佐文旦
A　L　5kg　12玉前後　3,000円
B　M　5kg　14玉前後　2,500円
◇送料別途：関西630円、関東840円、北海道1,050円（20kgまで）10kg箱もあります。
○ご注文は下記まで
【田中農園】田中隆一
〒781-7412　高知県安芸郡東洋河内203（tel./fax.0887-29-2500　E-mail: tanakan@cronos.ocn.ne.jp）
※売り上げの一部を寄付していただいています。ご注文の際は「GENの紹介」とひとこと添えてください。

2013年春 観察しながらウォーキング！ 第31回里山一斉調査

大阪自然環境保全協会が30年以上続けている里山の一斉調査です。親子での参加もどうぞ。春一番を探して里山を歩いてみませんか。

○4月7日（日）
高槻・原盆地コース／和泉・信太山コース／箕面・鉢伏山コース
○4月14日（日）
箕面・聖天山～才ヶ原池～こもれびの森コース／池田・五月山コース／茨城丘陵・鉢伏山コース／四条畷・田原の里山コース／八尾・高安山コース／堺・鉢ヶ峰コース／泉南・畦の谷コース／橋本・玉川峡コース
○4月20日（土）
能勢・妙見コース
○4月21日（日）
枚方・穂谷コース
○申込み：希望コース・参加者全員の氏名・住所・電話番号・年齢・大阪自然環境保全協会の会員か否か明記のうえFAX、メール、ハガキでお申し込みください。
○参加費：ひと家族500円（資料代、保険代、後日送付の報告書代をふくむ）
○参加資格：問いません（小学生以下のかたは保護者のかたとご一緒に）
○問合せ・申込み：公益社団法人大阪自然環境保全協会「里山一切調査」係　〒530-0041　大阪市北区天神1-9-13ハイム天神橋202（tel.06-6242-8720 fax.06-6881-8103 E-mail: NOB@nature.or.jp）